

[太子町立学校小中一貫教育基本方針] ～新たなつながりで育む太子の子～

太子町がめざす小中一貫教育

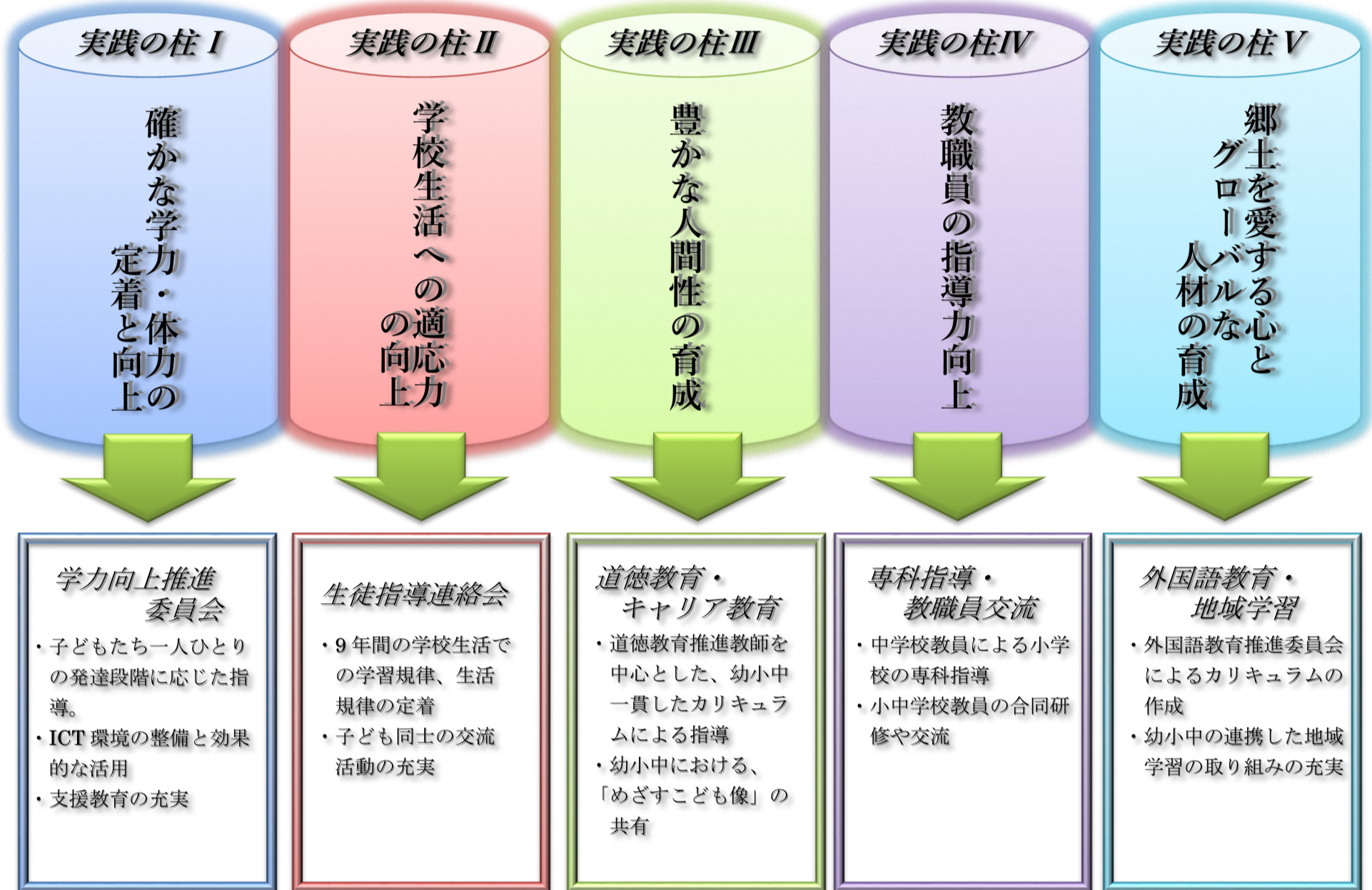
『小学校と中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって、学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組み、義務教育9年間の連続性のある指導を行うことで、義務教育を終了するにふさわしい学力と社会性を育成する教育』

小中一貫教育の目的

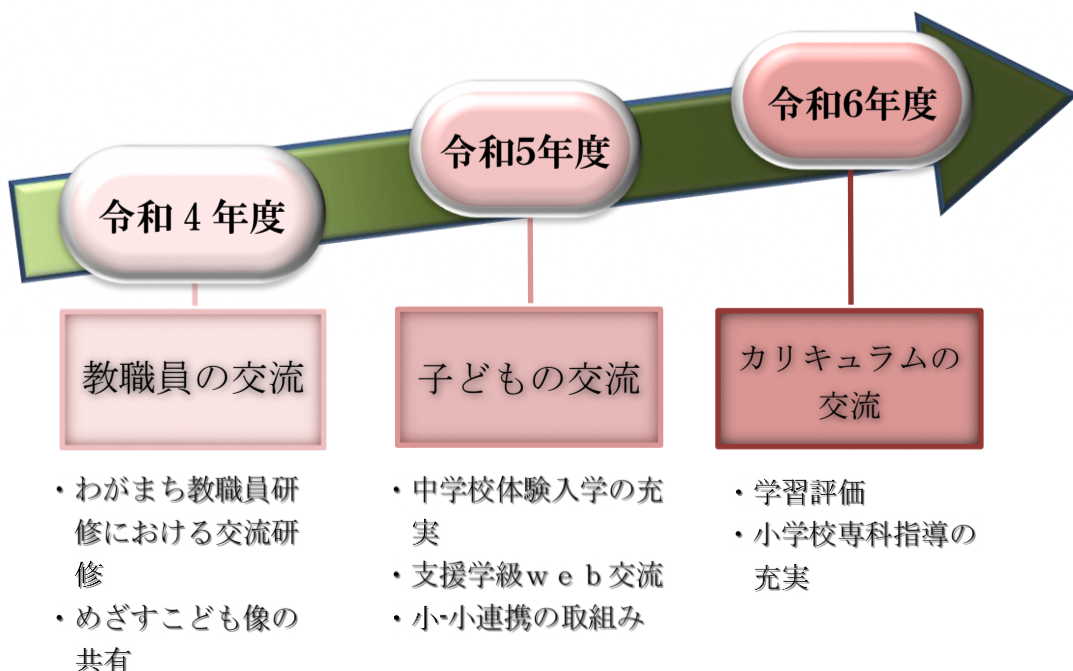
～小中連携から小中一貫教育へ～

これまで本町が取り組んできた小中連携教育を進化させ、予測困難な社会を生き抜く力を育成する。

- ☆ 「夢を実現する力」「社会を拓く力」の育成
- ☆ 生きて働く「知識・技能」の習得
- ☆ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成
- ☆ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養(かんよう)。



『太子町小中一貫教育』年次計画（重点取組み）



具体的実践

《施策》

- ・小学校高学年における、専科指導の実施
- ・小中学校における、35人学級の完全実施
- ・小中学校「理科」のデジタル教科書の導入
- ・小中学校教員の相互授業参観
- ・太子町「小中学校授業スタンダード」の実践
- ・英語科 CAN-DO リストの活用
- ・キャリアパスポートの活用

《行事》

- ・中学校体験「バックヤードツアー(仮)」の実施
- ・町立学校体力コンテスト